

あまみの風 不定期

発行元 天見地域まちづくり協議会 会長 相宅宏光
協力 河内長野市役所(自治協働課)



今秋 新たなイベントを開催!

オープニングボランテアを募集!

10月27日(日)に、大イベントを企画中

みんなで力を合わせて地域課題の解決に取り組もうと、2015年2月に設立した天見地域まちづくり協議会。すでに9年が経過する中で、買い物ツアーや空き家の調査、観光マップ、ウォーキング、サードプレイス、放課後の児童の見守りなどを実施してきた。原さんからバトンを受けた相宅さんから新体制の下、1月19日には、地域まちづくり協議会、連合自治会、福祉委員会、民生児童委員などが集まり、新たな企画をスタートさせた。

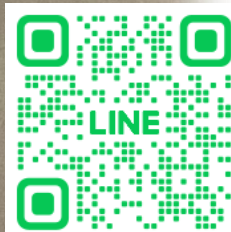
この企画は、今秋10月27日(日)に開催し、天見地域の住民が一同に集まれるよう、お菓子や食事の提供、軽スポーツやゲーム、ステージ演奏、マルシェなどのイベントを想定している。

天見地域は全400世帯、800人を切ったとはいえ、若者を含めた住民全員を集めることができるのか。アイデアと創意工夫が最大の課題だ。

そこで、このイベントに協力できる人や興味のある人を募集する。下記の公式LINEにメッセージの送信を。



QRコードで応募を!



啓発看板の復活を

読者の皆さんはご存じだろうか？

地域内には、「不審者を見かけたら通報を…」といった啓発看板が数多く設置されている。しかし、文字が判読できないほど老朽化したものも散見され、地域課題の一つとなっている。

そこで、現状をよく知る天見駐在所の辻栄作巡査部長にお聞きした。

■駐在所とは…

地域の小さな「警察署」です。警察官が住民の一人となって信頼関係を築きながら、通報や相談を受けて、犯罪の防止と地域の安全を守っています。



■天見地域の特色は…

住民同士の支え合い意識や「コミの」伝播力があり、私も支えられています。パトカーで巡回中に、わざわざ家から出てきてくれて、「ありがと」と声をかけてもらえた時は感激しました。

■啓発看板の状況は…

かつて、防犯協会など住民の尽力で設置されたと聞いています。私が調べたところ、管内では約16基の啓発看板の文字が薄くなり読めない状態です。そこで、地域まちづくり協議会に看板の更新を提案しました。

■具体的にはどのような提案を…

単に更新しても啓発効果は低いと考えました。そこで、修繕しつつ文字を入れ直して、子どもたちに絵や手形をつけてもらえば愛着も湧くし、何より皆さんに興味を持ってもらえて、啓発につながるのではないかと思います。

■防犯上の啓発課題は…

近年は、なんとといっても特殊詐欺被害が増えています。手口は様々で、家族をはじめ、市役所やN・T、警察などを名乗った詐欺師が電話してきて、還付金でATMに誘導するとか、投資を勧誘されるなどです。

■騙されないポイントは…

まずは疑うことです。不審な電話やメールに名前や住所を教えない。詐欺師は恐怖心や焦りを煽るので努めて冷静に。そして、何より大切なことは、家族や近所の人とのコミュニケーションです。日頃から詐欺の手法を話題にして、不審な電話やメールが来たら、迷わず私に相談してください。



地域まちづくり協議会では、天見小学校にも相談し、修繕後の啓発看板に、子どもたちに、絵や手形などで色付けしてもらおう取り組みを進める。「こころ」期待！

天見小学校から

天見小学校 校長 杉田京子

天見小学校では、他学年で遊んだり学んだりすることも多く、環境教育や農業体験など地域と密着した体験学習が豊富です。

毎年10月に開催されている運動会には、多くの卒業生や住民の皆さんが見に来てくれます。また、昨年5月に行われた全校遠足「てくてくテリング」では、防災訓練も兼ねて炊き出しをしていただきました。

今回、相宅会長と辻巡査部長から、啓発看板への色付けを託されました。子どもたちの創意工夫で楽しい看板にできたらと思います。

このように、本校は、学校と地域と保護者の、まさに三位一体で児童の成長を見守っています。ぜひ、天見小学校への入学を、友人などにご推薦くださると嬉しいです。

